

## Q 8 生活単元学習を実施する上での留意点を教えてほしい。

A 生活単元学習は一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際の・総合的に学習するものである。ここでは、生活単元学習の学習指導要領上の位置付けと年間指導計画の作成等について説明する。

### 1 学習指導要領上の位置付け

#### (1) 特別支援学校学習指導要領 総則

##### 第2節 教育課程の編成 第2 内容等の取扱いに関する共通的事項

知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校において、各教科の指導に当たっては、各教科（小学部においては各教科の各段階。以下この項において同じ。）に示す内容を基に、児童又は生徒の知的障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導内容を設定するものとする。また、各教科、道徳、特別活動及び自立活動の全部又は一部を合わせて指導を行う場合には、各教科、道徳、特別活動及び自立活動に示す内容を基に、児童又は生徒の知的障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導内容を設定するものとする。

上記より、知的障害特別支援学級や知的障害特別支援学校では、児童生徒の実態に応じて各教科等を合わせた指導を行うことができる。また、特別支援学校学習指導要領解説では、生活単元学習について、次のように述べられている。

#### (2) 特別支援学校学習指導要領解説 総則編 幼稚部・小学部・中学部

生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際の・総合的に学習するものである。生活単元学習では、広範囲に各教科等の内容が扱われる。児童生徒の学習活動は、生活的な目標や課題に沿って組織されることが大切である。

### 2 年間指導計画の作成

#### (1) 指導計画の作成に当たって考慮すべき内容

実際の生活から発展し、児童生徒の知的障害の状態等や興味・関心などに応じたものであり、個人差の大きい集団にも適合するものであること。

必要な知識・技能の獲得とともに、生活上の望ましい習慣・態度の形成を図るものであり、身につけた内容が生活に生かされるものであること。

児童生徒が目標をもち、見通しをもって単元の活動に積極的に取り組むものであり、目標意識や課題意識を育てる活動を含んだものであること。

一人一人の児童生徒が力を発揮し、主体的に取り組むとともに、集団全体で単元の活動に共同して取り組めるものであること。

各単元における児童生徒の目標あるいは課題の成就に必要なかつ十分な組織で組織され、その一連の単元の活動は、児童生徒の自然な生活としてのまとまりのあるものであること。

豊かな内容を含む活動で組織され、児童生徒がいろいろな単元を通して、多種多様な経験ができるよう計画されていること。

(2) 1 単元あたりの指導時間や単元名

学習内容により、1つの単元が2、3日で終わる場合もあれば、1学期間、あるいは、1年間続く場合も考えられる。指導計画作成時には年間における単元の配置や各単元の構成や展開について十分に検討する必要がある。以下は、考えられるテーマと単元名の例である。

テーマ例	単元名の例
学校行事との関連	楽しい遠足、思い出を作ろう(学校祭)、卒業生を送る会をしよう
季節の生活	星に願いを(七夕)、秋を探して楽しもう、もうすぐお正月
生活上の課題	宿泊学習に行こう、電車に乗って出かけよう
発表・表現	みんなで劇をしよう、作品展を開こう
制作・生産	カレンダーを作ろう、野菜を育てよう
偶発的な事柄	転入生を温かく迎えよう、～さんのお見舞い

3 単元の指導計画作成の手順 (小学校「宿泊学習に行こう」を例として)

(1) 児童が「宿泊学習」で活動すること(生活の流れ)を想起する。

バスに乗って移動    グループ見学    お土産購入    荷物の整理    食事  
 布団敷き    着がえ    入浴    掃除    砂浜遊び    など

(2) 将来の自立にむけ、この単元で身につけさせたい内容を(1)の中から具体化させる。

- ・今年はお土産購入を重点的に指導したいし、荷物整理や布団敷きも指導したい。
- ・バスの中での過ごし方や見学のきまりは、毎年、確認して身につけさせたい。
- ・バスに乗って行くので、方角や簡単な地図の見方を指導させたい。
- ・水族館にいる魚の名前を事前学習することで、見学や今後の生活に生かしたい。

(3) (2)より、児童が主体的に取り組めるような学習活動と指導時間を設定する。

下の表は、「宿泊学習」を単元として設定した場合の学習活動の一例である。

時	学 習 活 動	各教科等との関連	
事	1	・しおりをもとに、日程や持ち物の確認をする。	算数
	2	・係分担を話し合ったり自分のめあての決めたりする。	道徳、特活
	3	・荷物の整理のしかたや衣服のたたみ方の練習をする。	家庭

前	4	・布団の敷き方や入浴の練習をする。	家庭、特活
	5 . 6	・お店の準備をして買い物ごっこをする。	算数、家庭
	7	・4方位を知る。関東地方の地図を調べる。	社会
	8	・水族館にいるにいる海の生き物の名前を調べる。	理科
	9	・バスの中の過ごし方や見学の約束を話し合う。	道徳、特活
事中	1 ~ 10	・きまりを守って見学する。	道徳、特活、理科
		・買い物学習をする。	道徳、特活、算数
	中	・避難経路や避難のしかたをを確認する。	特活
		・アスレチックで遊ぶ。	体育
		・砂浜で貝殻を拾う。磯にいる生物の観察をする。	理科
事後	1 ~ 3	・楽しかったことを絵や文で表したり、貝殻を使った作品を作る。	国語、図工

- (4) 各時間の学習活動をもとに、児童の実態に応じた個別目標、評価の観点を考える。  
 以下は、「大洗町について知ろう」という題材で指導した場合の例である。

	実 態	個別目標	評価の観点
A 3 年	・言葉での東西南北は知っているが、実際場面や地図上ではわからない。 ・初めて宿泊学習に参加する。	大洗町は海（太平洋）に面した町であることがわかる。	大洗町は海に面した町であることがわかったか。
B 6 年	・太陽をもとにして東西南北がわかる。 ・3年生から宿泊学習に参加している。	大洗町は学校から見て東にある町であることがわかる。	大洗町は学校から見て東にある町であることがわかったか。

<参考文献> [特別支援学校学習指導要領解説 総則編 幼稚部・小学部・中学部](#) 文部科学省  
[特別支援学級及び通級による指導 教育課程編成の手引](#) 栃木県教育委員会